

5月総決起・総行動で不当処分策動を粉碎しよう



80.5.12
NO.425

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二三五八・九・公衆電話(22)七二〇七

5.17 総決起

5.25 三里塚

に全力結集を!

五月中旬より下旬は、かつてなく重要な闘いの時期だ。いま全支部、全職場で国鉄当局、「本部」反動分子一体となつた選別的な不当処分策動粉碎へむかつて怒りの総決起体制が築かれつつある。5月2日津田沼支部職場集會を皮切りに、8日新小岩、9日幕張、12日千葉運転区、蘇我、佐倉、13日勝浦、館山、14日木更津、16日成田、と、次々と全支部が職場集會の成功と対現場長抗議交渉を設定し、かつてない熱意のもとで反処分へのうねりが高まってきた。

この体制を更に強固にうちかため、5・17 ↓ 5・25 大結集をつくり出し、全人民的共闘の輪をどんどん広げ、反処分・三里塚・反合勝利の一大社会運動をまき起し、勝利の道をつき進んでいこう!

五月総決起・総行動の重大な課題

五月一日カセ七回支部代決定にもとづく不当処分策動粉碎のためには、すでに権力・当局、「本部」反動分子を決定的にあいつめていく。数ある処分の中でも、今度の処分ほど卑劣で醜悪なものはない。いまだ例を見ない。われわれは断じてこんなものを許すわけにはゆかない。いかなる事態がこれによつて生じようとも、われわれは必ずこれを叩きつぶす。動力千葉一四〇〇が一人の例外もなく心の底からの煮えくりかえる怒りで今戦闘配置に付いたのだという事を、当局と「本部」反動分子は、しっかりと見ておけ。

当局に動力千葉への弾圧処分を「4月16日付、正式申し入れ書面」をもつて哀訴するまでに腐敗し転落し切つた「本部」反動分子は、その裏でこの六月にも35万人体制攻撃の中心軸たる「乗務員運用合理化」に率先協力し、「55・10」改を「も売り渡す」という形で、今や完全に国鉄当局との腐り切つたゆ着込みを公然とさらけ出すに至つたのである。

その証拠に、すでに東京三局で総計二八八名という大量の要員削減と三割五割増もの仕業の大型化、労働強化という労働条件の抜本的改悪が具体的に提案されているにもかかわらず、この向の動力車新卒を見るまでもなく「乗務員運用合理化」攻撃に対する闘いの方針はもとよ

り「乗務員運用合理化」の文字すらどこにも報道すらされていない。

動力千葉を弾圧処分の中に売り渡そうと当局に身をすりよせる「本部」反動分子、東京地本内反動分子は、東京地本組合員をも合理化、労働強化の中に売り渡すという断じて許せない決定的裏切りを強行しようとしているのだ。

反処分青総決起で、「55.10」「56.3」粉碎の先制的闘いを勝ちこせ!

われわれは「35万人体制粉碎」と「ジェット燃料輸送阻止」を自らの重大な歴史的使命であると確信している。そして「55.10」改と「56.3」期限切れが重大な決戦の節をなしている事を確認してきた。しかも今回の不当処分が本質的にこの点をめぐる先制的処分である事は、はっきりと確認する我々は、逆に反処分五月総決起の一挙的爆発を通して「55.10」「56.3」をズタズタにうちくだく先制的闘いを勝ちこすことではないか。しかも重要な事はこの闘いは必ず勝利できるといふ事だ。

全組合員の皆さん! 五月総決起総行動は国鉄労働者全員の命運を決する重大な決戦への突破口である。勝利の確信もたかく突き進もう! 全支部職場集會・対現場長抗議交渉を徹底的に強化し、5月の圧倒的成功、5.25三里塚空前の大結集で、不当処分策動をかきとばそう!